

プログラム

第1日目 3月12日(土)

12:00～12:10 開会の辞

12:10～13:20 セッションI 性能評価1 その他

13:20～14:20 セッションII 性能評価2 その他

14:20～15:10 セッションIII 臨床1

15:10～16:00 セッションIV 臨床2

16:10～18:30 シンポジウム

『新たなダイアライザの性能評価法を考える』

19:00～ 懇親会

12:00 開会の辞

会長 齋藤 明 (国際医療福祉大学熱海病院)

12:10～13:20 セッションI

座長 水口 潤 (川島病院)

増田 利明 (ニプロ株式会社)

1. CSEMI (Continuous Syringe Extraction Method II) の考案

みはま病院 ME部¹⁾ みはま病院²⁾

○石丸 昌志 (いしまる あつし)¹⁾ 鈴木 一哉¹⁾ 内野 順司¹⁾ 正井 基之²⁾ 吉田 豊彦²⁾

2. ダイアライザー一部変更品、事前試用からの一考察

医療法人永仁会 永仁会病院 診療技術部 臨床工学科¹⁾

医療法人永仁会 永仁会病院 腎センター²⁾

○佐藤 政範 (さとう まさのり)¹⁾ 久光 秀之¹⁾ 松永 智仁²⁾

3. 中空糸充填率の異なる透析器における流動および溶質除去能の検討

早稲田大学 先進理工学部 応用化学科¹⁾

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻²⁾

○木田 翔子 (きだ しょうこ)¹⁾ 平野 彩香²⁾ 山本 健一郎²⁾ 酒井 清孝²⁾

4. 旭化成クラレメディカル社製 APS15EA (機能分類5型) の性能評価

東葛クリニック病院 臨床工学部¹⁾ 東葛クリニック病院 腎臓内科²⁾

東葛クリニック病院 外科³⁾

○新海 洋平 (しんかい ようへい)¹⁾ 新部 武人¹⁾ 小松 直美¹⁾ 久保 満¹⁾ 松金 隆夫¹⁾

松島 保久²⁾ 東 伸宣³⁾

5. 旭化成クラレメディカル社製 APS-21EA の臨床性能評価

NTT 東日本札幌病院 臨床工学室¹⁾ NTT 東日本札幌病院 腎臓内科²⁾

NTT 東日本札幌病院 臨床検査科³⁾

○佐藤 健太 (さとう けんた)¹⁾ 須藤 徹¹⁾ 佐々木 雅敏¹⁾ 杉本 親紀¹⁾ 櫻田 克己¹⁾

岡本 延彦²⁾ 橋本 整司²⁾ 佐藤 昌明³⁾

6. 5型ダイアライザー APS-21EA と APS-21E の性能評価

熊本中央病院¹⁾ 熊本中央病院 腎臓科²⁾

○橋口 誠一 (はしぐち せいいち)¹⁾ 石上 洗¹⁾ 前田 哲也¹⁾ 小川 円¹⁾ 西本 幸司¹⁾

白石 邦雄¹⁾ 有蘭 健二²⁾ 松岡 潔²⁾ 松下 芳雄²⁾ 唐原 靖治²⁾

7. 旭化成クラレメディカル社V型透析器 APS-18EA の性能評価

山東第二医院 臨床工学部¹⁾ 内科²⁾

○山崎 良貴 (やまざき よしたか)¹⁾ 長谷川 文夫¹⁾ 後藤 博之¹⁾ 恵 らん²⁾ 恵 以盛²⁾

13:20～14:20 セッションⅡ

座長 山下 明泰 (湘南工科大学)

高橋 卓 (旭化成クラレメディカル株式会社)

8. 新規ポリマーを使用した東レ社製ポリスルホン膜ダイアライザ NV-16U の臨床評価

大分内科クリニック 臨床工学部¹⁾ 大分内科クリニック²⁾ 大分中村病院 腎臓内科³⁾
姫路獨協大学 医療保健学部 臨床工学科⁴⁾

○河野 桂子 (かわの けいこ)¹⁾ 妹尾 美苗¹⁾ 三浦 利恵¹⁾ 小野 和子¹⁾ 吉上 早苗¹⁾
坂下 亨¹⁾ 松山 家久²⁾ 松山 誠³⁾ 福田 誠⁴⁾

9. 膜表面の親水性を向上させた東レ (株) 社製 NV-16U の使用評価

医療法人社団三思会 東邦病院 ME 科¹⁾

医療法人社団三思会 東邦病院 腎臓血液センター²⁾

○松本 理恵 (まつもと りえ)¹⁾ 松村 昌樹¹⁾ 小川 浩司¹⁾ 関塚 くみ子¹⁾ 大澤 祐介¹⁾
星野 晴香¹⁾ 小林 さつき²⁾ 吉田 弘明²⁾ 松本 孝之²⁾ 植木 嘉衛²⁾

10. 新しい抗血栓性透析器 (NV) の開発

東レ株式会社 先端材料研究所 先端医療材料研究ユニット¹⁾ 東レ・メディカル株式会社²⁾

○上野 良之 (うえの よしゆき)¹⁾ 藤田 雅規¹⁾ 山田 智子²⁾ 菅谷 博之¹⁾ 板垣 一郎¹⁾

11. 東レ社製新型ポリスルホン膜 NV-16U の性能評価

JA 茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 臨床工学部¹⁾

JA 茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 腎臓内科²⁾

○井能 秀雄 (いのう ひでお)¹⁾ 中原 毅¹⁾ 高野 真史¹⁾ 小森 正実¹⁾ 小串 美由紀¹⁾
久松 学¹⁾ 上岡 将之¹⁾ 倉持 龍彦¹⁾ 堀井 京子¹⁾ 関 貴弘¹⁾ 寺田 紀子¹⁾
黒須 唯之¹⁾ 上野 信一¹⁾ 松井 則明²⁾

12. 新規開発されたポリスルホン膜の臨床評価

三軒医院

○歌谷 和浩 (うたたに かずひろ) 牧尾 健司 室 秀一 沼田 静 上野 雅恵
濱本 統久 南方 茂樹 森本 鎮義 三軒 久義

13. 東レ社製新型ダイアライザー「NV-16U」の臨床評価

社会保険中央総合病院 臨床工学部¹⁾ 社会保険中央総合病院 透析センター²⁾

○山家 敏彦 (やまか としひこ)¹⁾ 市川 公夫¹⁾ 斎藤 麻美¹⁾ 加藤 勇樹¹⁾
渡邊 研人¹⁾ 田中 正幸¹⁾ 中井 歩¹⁾ 須田 博文¹⁾ 樋口 直仁¹⁾ 野口 啓²⁾
五十嵐 奈央子²⁾ 吉本 宏²⁾

14:20～15:10 セッションⅢ

座長 政金 生人（矢吹病院）

工藤 俊洋（フレゼニウスメディカルケアジャパン株式会社）

14. 透析条件に体格差を考慮する必要性

高知高須病院 臨床工学部¹⁾ 高知高須病院 血液浄化科²⁾

○小川 晋平（おがわ しんぺい）¹⁾ 濱田 龍一¹⁾ 濱田 あすか¹⁾ 中西 栄¹⁾

池辺 宗三人²⁾ 大田 和道²⁾ 湯浅 健司²⁾

15. PMMA 膜におけるアミノ酸漏出の検討

医療法人 永仁会 永仁会病院 腎センター

○松永 智仁（まつなが ともひろ） 佐藤 政範

16. 透析前アルブミン値の retrospective 解析

JA 山口厚生連 長門総合病院 臨床工学科

○黒木 千尋（くろき ちひろ） 谷口 貴康 戸早 るり子 肥田 泰幸

17. インドキシル硫酸とアルブミンの結合-解離特性の評価

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻¹⁾

東京女子医科大学 臨床工学科²⁾ 東京女子医科大学 臨床工学部³⁾

○高木 まりこ（たかぎ まりこ）¹⁾ 山本 健一郎²⁾ 江口 圭³⁾ 金子 岩和³⁾

酒井 清孝¹⁾ 峰島 三千男²⁾

18. ALB 漏出量の違いにより透析患者の還元型 ALB は変化するのか？

医療法人 川島会 川島病院¹⁾ 徳島大学病院 腎臓内科²⁾

○廣瀬 大輔（ひろせ だいすけ）¹⁾ 道脇 宏行¹⁾ 竹内 教貴¹⁾ 志内 敏郎¹⁾ 田尾 知浩¹⁾

長井 幸二郎²⁾ 北村 悠樹¹⁾ 中村 雅将¹⁾ 土田 健司¹⁾ 水口 潤¹⁾

15:10～16:00 セッションⅣ

座長 武本 佳昭 (大阪市立大学)

菅谷 博之 (東レ株式会社)

19. 長時間透析時の低分子量蛋白領域物質の除去動態についての検討

橋本クリニック¹⁾ 北里大学医療衛生学部²⁾

○山内 美美 (やまうち ふみ)¹⁾ 丸山 直子¹⁾ 鈴木 歩¹⁾ 細谷 広海¹⁾ 朝日 大樹¹⁾
谷林 由美¹⁾ 齋藤 毅¹⁾ 櫻井 健治¹⁾ 小久保 謙一²⁾

20. 透析膜素材が末梢循環と溶質除去に及ぼす影響

医) 萬田記念病院 診療部¹⁾ 腎臓内科²⁾

○中村 亘 (なかむら わたる)¹⁾ 木津 雄介¹⁾ 川辺 孝典¹⁾ 友西 寛¹⁾ 小林 陽介¹⁾
中村 実¹⁾ 柴田 晴昭¹⁾ 萩原 誠也²⁾ 名和 伴恭²⁾

21. 積層型ダイアライザー AN69 膜による下肢血流改善効果—第3報—

医療法人 かもめクリニック 臨床工学部¹⁾ 医療法人 かもめクリニック 内科²⁾

○西山 敏郎 (にしやま としろう)¹⁾ 阿部 裕也¹⁾ 水沼 博志¹⁾ 大原 真也¹⁾ 柴田 猛¹⁾
有坂 功秀²⁾ 金田 浩²⁾

22. 積層型ダイアライザ AN69 膜使用における溶質除去性能と末梢循環評価の検討

JA 長野厚生連 篠ノ井総合病院 臨床工学科¹⁾

JA 長野厚生連 篠ノ井総合病院 腎臓内科²⁾

○田中 光 (たなか ひかる)¹⁾ 桜沢 貴俊¹⁾ 中村 啓章¹⁾ 清水 和明¹⁾ 塩澤 勉¹⁾
牧野 靖²⁾ 田村 克彦²⁾ 長澤 正樹²⁾

23. 磁気による血流変化が透析治療に与える影響についての検討

北条田仲病院¹⁾ 東北大学未来科学技術共同研究センター²⁾

○山本 英則 (やまもと ひでのり)¹⁾ 中野 真太郎¹⁾ 赤木 龍司¹⁾ 目代 貴之²⁾
河野 雅弘²⁾ 田仲 紀陽¹⁾

16:10～18:30 シンポジウム『新たなダイアライザの性能評価法を考える』

司会 川西 秀樹（あかね会土谷総合病院）
峰島三千男（東京女子医科大学）

SY-1 ダイアライザ性能評価法の基礎

湘南工科大学

○山下 明泰（やました あきひろ）

SY-2 ダイアライザを流れる実流量の問題

釧路泌尿器科クリニック

○大澤 貞利（おおさわ さだとし）

SY-3 クリアランス評価時の諸問題と新たな提案

東京女子医科大学臨床工学部

○村上 淳（むらかみ じゅん）

SY-4 ダイアライザ性能の経時変化：ファウリング機構の解明

早稲田大学大学院先進理工学研究科

○琴谷 淳（ことたに あつし）

SY-5 ダイアライザ性能評価法に関する企業側からの要望

日本医療器材工業会

○板垣 一郎（いたがき いちろう）

SY-6 新たなダイアライザの性能評価法を考える

東京女子医科大学臨床工学科

○峰島 三千男（みねしま みちお）

19:00～ 懇親会

会場 霞ヶ関ビル 35F 東海大学校友会館

プログラム

第2日目 3月13日(日)

10:00～11:00 セッションV HDF その他

11:00～12:00 セッションVI 性能評価3

12:00～13:00 昼食

13:10～13:20 総会

13:20～14:20 セッションVII 基礎研究 その他

14:20～15:10 セッションVIII 生体適合性

15:10～15:20 閉会の辞

座長 土田 健司 (川島病院)
神保 陽一 (日機装株式会社)

24. ABH-P の除去性能の評価 (膜面積増加による効果)

橋本クリニック¹⁾ 湘南工科大学 工学部 人間環境学科²⁾
○丸山 直子 (まるやま なおこ)¹⁾ 朝日 大樹¹⁾ 細谷 広海¹⁾ 山内 美美¹⁾ 鈴木 歩¹⁾
谷林 由美¹⁾ 齋藤 毅¹⁾ 櫻井 健治¹⁾ 山下 明泰²⁾

25. 前希釈 on-line HDF における ABH-21P の性能評価 (置換液量と TMP について)

医療法人 川島会 川島病院
○磯田 正紀 (いそだ まさのり) 東根 直樹 松浦 翔太 原 俊夫 細谷 陽子
田尾 知浩 石原 則幸 土田 健司 水口 潤 川島 周

26. 血液透析器における内部濾過流量と拡散および濾過による物質移動量の関係

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻¹⁾
姫路獨協大学 医療保健学部 臨床工学科²⁾
○張 亮 (ちやう りやう)¹⁾ 滑川 亘希¹⁾ 福田 誠²⁾ 酒井 清孝¹⁾

27. 大面積ダイアライザの性能評価

医療法人 偕行会 名港共立クリニック
○黒田 浩樹 (くろだ ひろき) 木津 梓 山川 剛史 西田 泰教 岩永 浩宣 上野 順子
田岡 正宏 佐藤 隆

**28. JMS 社製全自動透析装置 (GC-110N) による無酢酸間歇補液血液透析 (AF I-HD) における
栄養状態改善効果**

医療法人社団 菅沼会 腎内科クリニック世田谷 人工透析内科¹⁾
医療法人社団 菅沼会 腎内科クリニック世田谷 臨床工学部²⁾
医療法人社団 菅沼会 腎内科クリニック世田谷 看護部³⁾
○菅沼 信也 (すがぬま しんや)¹⁾ 齊藤 祐太²⁾ 島田 桐人²⁾ 秋吉 素子²⁾ 佐藤 てるみ³⁾
高橋 英明³⁾

29. 次世代型血液透析システムの開発

かもめクリニック 次世代技術研究開発部
○柴田 猛 (しばた たける) 清松 国広 山本 将人 上石 等 西山 敏郎 高橋 英次
金田 史香 金田 浩

11:00～12:00 セッションVI

座長 齊藤 明 (国際医療福祉大学熱海病院)
細井 信幸 (川澄株式会社)

30. 近接場顕微赤外分光法による中空糸膜断面のマッピング解析

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻¹⁾
姫路獨協大学 医療保健学部 臨床工学科²⁾
○宇田 寿子 (うだ よしこ)¹⁾ 薬師寺 大二²⁾ 松田 雅人¹⁾ 酒井 清孝¹⁾

31. APS-21EL と FDY-21GW の除去性能の比較

みはま病院 ME 部¹⁾ みはま病院²⁾
○石丸 昌志 (いしまる あつし)¹⁾ 鈴木 一哉¹⁾ 内野 順司¹⁾ 正井 基之²⁾ 吉田 豊彦²⁾

32. V 型ダイアライザー FDY-15GW の血液流量変更による溶質除去性能の検討

公立富岡総合病院 泌尿器科¹⁾ 公立富岡総合病院 臨床工学科²⁾
○小林 大志朗 (こばやし だいしろう)¹⁾ 塩野 昭彦¹⁾ 町田 昌巳¹⁾ 牧野 武雄¹⁾
町田 佳代子²⁾ 浦野 よしみ²⁾ 生形 尚子²⁾ 斎藤 慎²⁾ 原 勇²⁾

33. モイストタイプダイアライザ NV-U と NV-X の性能評価

医療法人あかね会 中島土谷クリニック¹⁾ 医療法人あかね会 土谷総合病院²⁾
○藤尾 貴大 (ふじお たかひろ)¹⁾ 高 義尚¹⁾ 谷川 智彦¹⁾ 森石 みさき¹⁾
川西 秀樹²⁾ 土谷 晋一郎²⁾

34. 膜内表面の親水性を高めたポリスルフォンを膜素材とした東レ社製新型透析器 NV-21X の性能評価

五仁会 元町 HD クリニック 臨床工学科¹⁾ 同 臨床検査部²⁾ 同 内科³⁾
○阪口 剛至 (さかぐち たけし)¹⁾ 田中 和馬¹⁾ 大槻 英展¹⁾ 吉本 秀之¹⁾ 田淵 篤嗣¹⁾
森上 辰哉¹⁾ 清水 康²⁾ 田中 和弘²⁾ 小松 祐子²⁾ 山本 良子²⁾ 申 曾洙³⁾

35. PMMA 膜ダイアライザ (BG-PQ) の透析器交換による除去特性

メディカルサテライト岩倉¹⁾ メディカルサテライト知多²⁾ 岩倉病院外科³⁾
株式会社医学生物学研究所診断薬事業部学術グループ⁴⁾
東レ・メディカル株式会社透析事業本部⁵⁾
○長尾 尋智 (ながお ひろとも)¹⁾ 安部 淳²⁾ 山本 優²⁾ 野々山 智之²⁾ 目叶 裕史²⁾
新井 次郎⁴⁾ 押原 渉⁵⁾ 高田 幹彦³⁾

12:00～13:00 昼食

13:10～13:20 総会

司 会 齋藤 明 (国際医療福祉大学熱海病院)
報告者 水口 潤 (川島病院)

座長 山本健一郎 (早稲田大学大学院)

中川 宜明 ((株)ジェイ・エム・エス)

36. 含水に伴うドライ透析膜内表面における硬度の経時変化

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻¹⁾

早稲田大学 理工学術院 先進理工学部 応用化学科²⁾

姫路獨協大学 医療保健学部 臨床工学科³⁾

○山崎 久美子 (やまざき くみこ)¹⁾ 松田 雅人²⁾ 薬師寺 大二³⁾ 酒井 清孝²⁾

37. 放射線滅菌処理がポリスルホン透析膜表面のポリビニルピロリドン分布に与える影響

姫路獨協大学 医療保健学部 臨床工学科¹⁾ 早稲田大学 先進理工学部 応用化学科²⁾

早稲田大学大学院 先進理工学研究科 応用化学専攻³⁾

○薬師寺 大二 (やくしじ たいじ)¹⁾ 上原 希美²⁾ 宇田 寿子³⁾ 松田 雅人³⁾ 酒井 清孝³⁾

38. 各種透析膜からの Polyvinylpyrrolidone 溶出特性と UV スペクトルの検討

一陽会 服部病院 臨床工学室¹⁾

大阪電子通信大学大学院 医療福祉工学研究科 博士後期課程²⁾

○小西 修二 (こにし しゅうじ)¹⁾ 宮田 賢宏^{1),2)}

39. 過酢酸系消毒剤の透析配管種別の残留特性と適正水洗法

医療法人社団いでクリニック

○佐野 博之 (さの ひろゆき) 植村 友隆 井出 孝夫

40. 透析機器に用いられる洗浄、消毒剤の再考

三軒医院

○濱本 統久 (はまもと のりひさ) 牧尾 健司 室 秀一 沼田 静 上野 雅恵

歌谷 和浩 南方 茂樹 森本 鎮義 三軒 久義

41. PS 膜透析器 FX における溶出物の検討

日本赤十字社医療センター 医療技術部 臨床工学技術課¹⁾

工学院大学 工学部 環境エネルギー化学科²⁾ 日本赤十字社医療センター 腎臓内科³⁾

○堀 祐貴 (ほり ゆうき)¹⁾ 堀内 勇人¹⁾ 田中 かおり¹⁾ 神田 志保¹⁾ 赤澤 真由美¹⁾

山田 明日香¹⁾ 齋藤 郁郎¹⁾ 佐藤 宜伯²⁾ 木村 雄二²⁾ 後藤 淳郎³⁾

14:20～15:10 セッションⅧ

座長 友 雅司 (大分大学)

Horst-Dieter Lemke (Membrana R&D)

42. ビタミンE 固定 PS (VPS) 膜による脂質関連物質の軽減効果

(医) 川島会 川島病院¹⁾ 旭化成クラレメディカル株式会社²⁾

○北村 悠樹 (きたむら ゆうき)¹⁾ 神村 久美¹⁾ 吉岡 典子¹⁾ 細谷 陽子¹⁾

土田 健司¹⁾ 水口 潤¹⁾ 是本 昌英²⁾

43. ポリスルホン膜ダイアライザーによる著明な血小板減少が示唆された2症例

坂井瑠実クリニック 医療技術部¹⁾ 坂井瑠実クリニック 腎臓内科²⁾

○岡留 淑子 (おかどめ としこ)¹⁾ 松川 誠¹⁾ 川上 舞¹⁾ 田代 望¹⁾

熊谷 昌樹¹⁾ 永井 絵理¹⁾ 谷川 円¹⁾ 岡田 伴子¹⁾ 福井 幸子¹⁾

松本 正典¹⁾ 坂井 瑠実²⁾ 喜田 智幸²⁾

44. 製膜時の PVP 添加の有無が血液適合性に与える影響について

塩谷会すがも腎クリニック 臨床工学部¹⁾ 塩谷会すがも腎クリニック 腎臓内科²⁾

秀和会秀和総合病院 臨床工学部³⁾

○五十嵐 一生 (いがらし かずなり)¹⁾ 佐野 直人¹⁾ 恩田 久美子¹⁾

河崎 雅暢²⁾ 芝本 隆³⁾

45. 血液透析用血液回路内の血小板凝集における検討

JA 茨城県厚生連 総合病院 土浦協同病院 臨床工学部¹⁾ 同 臨床検査部²⁾

同 腎臓内科³⁾ 同 血液内科⁴⁾

学校法人 順正学園 九州保健福祉大学院 保健科学研究科⁵⁾

○倉持 龍彦 (くらもち たつひこ)¹⁾ 中原 毅¹⁾ 高野 真史¹⁾ 久松 学¹⁾ 関 貴弘¹⁾

黒須 唯之¹⁾ 小橋 和彦¹⁾ 上野 信一¹⁾ 小坪 将江²⁾ 藤岡 恵子²⁾ 戸田 孝之³⁾

松井 則明³⁾ 清水 誠一⁴⁾ 吉武 重徳⁵⁾ 竹澤 真吾⁵⁾

46. 後希釈 HDF 時の血液粘性に関する検討

(医) 川島会 川島病院¹⁾ 旭化成クラレメディカル株式会社²⁾

MC 研究所³⁾

○中村 雅将 (なかむら まさゆき)¹⁾ 是本 昌英²⁾ 林 哲也³⁾

土田 健司¹⁾ 水口 潤¹⁾

15:10～15:20 閉会の辞

峰島三千男 (東京女子医科大学)